

地域の歴史を生かしたサイクリング大会の開催（大洲市）

【取組概要】

愛媛県と連携し、「愛媛マルゴト自転車道」の整備を推進するとともに、大洲市でも趣向を凝らした独自のサイクリングイベントの取り組みを進める。

平成26年度には、「おおず街なか再生館」の主催で“ツール・ド・ひじかわ～龍馬街道編～”と題した全行程74Km、高低差649mのコースでのイベントを開催した。ハードなコース設定にもかかわらず、108名がエントリーし、105名が完走している。

人口 46,002 人

担当部署 観光まちづくり課

事業実施期間 平成26年11月

取組事例のURL



スタート地点

【取組のポイント(特徴・先進性・特色など)】 【今後の構想や、他団体との連携の可能性】

市の中心部をスタートし、肱川を上流に向けて走る風光明媚なコースだが、途中、坂本龍馬が脱藩の際一夜を過ごした「泉ヶ峠」を越える急勾配区間もあり、比較的上級者向けのイベントとなった。エイドでは、大洲名物の「いもたき」を振舞うなど、地域色豊かな内容になるよう心がけた。

平成27年度には、市町村合併10周年記念事業の一つとして、「大洲市サイクリングイベント実行委員会」を立ち上げ、サイクリングの普及・発展を目的とした、初心者でも参加できる周遊型のイベントを開催する予定である。



サイクリング状況